

「八女福島の燈籠人形」公演（国指定重要無形民俗文化財）

1 開催日：令和7年9月21日（日）～23日（火/祝）

※口開け公演 9月20日（土）20時00分

2 公演時間：①13時30分 ②15時 ③16時30分 ④19時 ⑤20時30分

（※1回の公演時間 約30分）

3 芸題：「春景色筑紫瀧名島詣」

（はるげしきちくしがたなじまもうで）

※解説については、別紙参照

4 開催場所：八女市本町 福島八幡宮境内

5 観覧料：無料

6 交通アクセス：八女ICから車で約10分

7 連絡先：八女市教育委員会教育部文化振興課

☎0943-23-1982



8 概要

「八女福島の燈籠人形」は、福島八幡宮「放生会」の奉納行事として、秋分の日付近の3日間で上演されるからくり人形芝居です。当初、山鹿市・大宮神社から燈籠を譲り受け、江戸時代半ばに福島町民が独自の工夫をこらし人形の燈籠を奉納したことが始まりといわれます。当時、大阪方面で隆盛を誇った人形浄瑠璃の技術を採用し、現在の形態になったといわれています。



9 子ども教室発表会

八女福島の燈籠人形保存会では、伝統芸能を継承するために、小学生・中学生を対象にした「子ども教室」を開催しており、令和7年度は29名の子どもたちが燈籠人形の「お囃子(はやし)」の演奏を練習しています。下記の日程で発表会を行い、練習の成果を披露します。

【子ども教室発表会】

開催日時：令和7年9月21日（日）14：00～

開催場所：福島八幡宮境内 屋台

※子ども教室は、毎週土曜19時～20時におりなす八女研修棟で行っております。（令和7年5月24日～9月15日の全16回）



10 その他

出演者のみなさんの練習については、9月1日から福島八幡宮の屋台及びおりなす八女研修棟にて行われる予定です。（火曜日～土曜日 19時30分～）※状況によって変動する場合があります。